

盛土造成工事における安全対策について

2024年5月23日

中央新幹線長野工事事務所大鹿分室

中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）工事共同企業体

2024年5月16日（木）、主要地方道松川インター大鹿線半の沢道路改築事業のうち、長野県と当社の協定に基づき工事共同企業体が施工している盛土造成工事のヤード内にて整地作業中に発生したバックホウ転倒事故について、工事共同企業体において、以下の安全対策を講じることとしました。

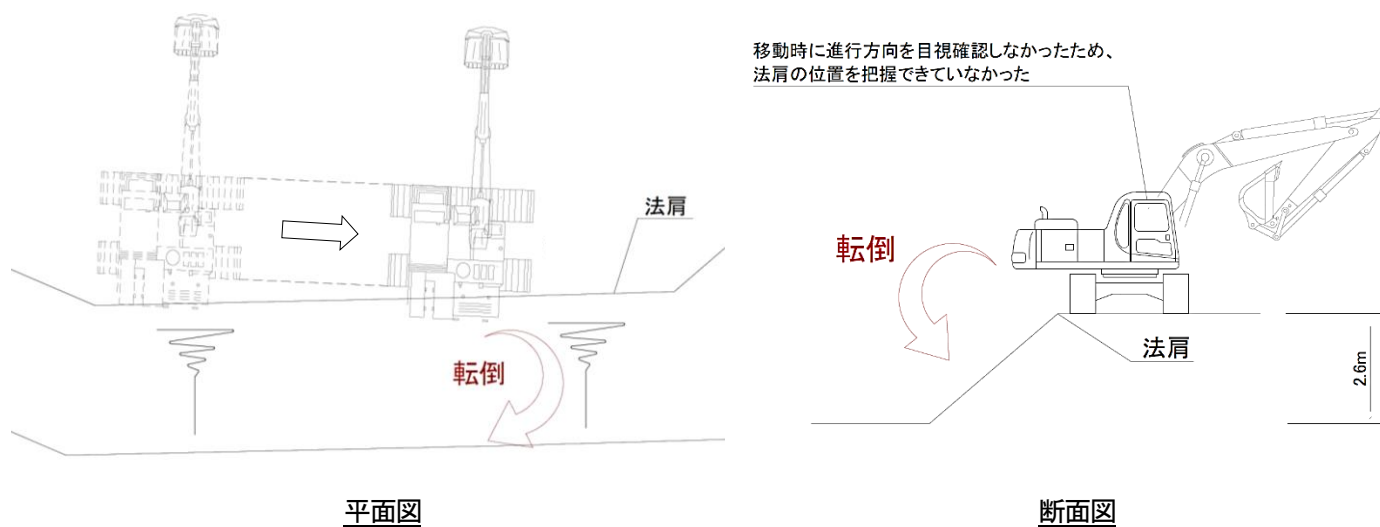
今回の原因は、バックホウ運転手が移動時に進行方向を目視確認しなかったため、法肩の位置を把握できていなかったことでした。

対策として以下を行います。

- ① 作業に応じた適切なキャタピラの向き、法肩との離隔を重機作業計画書で具体的に指示をする。
- ② バックホウ運転手は法肩付近で作業する際、法肩との離隔および進行方向を目視確認する。

今後とも安全第一で工事を推進してまいります。

○事故の状況



※本事故については、労働基準監督署および関係する自治体に報告しています。

【連絡先】中央新幹線長野工事事務所大鹿分室（0265-39-2975）